

第19回熊本県高等学校英語ディベート大会実施要項

熊本県高等学校教育研究会英語部会

- 1 目的 日頃の英語学習の成果を発表する機会を提供し、ディベート活動を通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図るとともに、物事を多角的な視点からとらえる態度を育成する。
- 2 主催 熊本県高等学校教育研究会英語部会
- 3 後援 熊本県教育委員会（予定）
- 4 期日 令和5年（2023年）10月7日（土）
- 5 会場 熊本県立熊本西高等学校 熊本市西区城山大塘5丁目5-15
TEL 096-329-3711 地点名【熊本市：高橋】
- 6 日程

受付	8：15～	8：30
開会式	8：40～	9：00
予選ラウンドA	9：10～	10：10
予選ラウンドB	10：20～	11：20
昼食	11：30～	12：15
予選ラウンドC	12：15～	13：15
予選ラウンドD	13：45～	14：45
準決勝	15：15～	16：00
決勝戦・3位決定戦	16：10～	17：00
閉会式	17：00～	

7 参加条件

- (1) 熊本県内の公立高等学校（高等部）、私立高等学校、高等専門学校1～3年に在学する生徒
- (2) 英語のネイティブスピーカーは不可
- (3) 以下の海外生活経験者等の条件に該当する者はチームに2名以内
 - ①英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - ②英語を第2言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - ③家庭で常用的に英語を使っている生徒

8 チーム構成

- (1) 同一校に在籍する生徒4名～6名により構成。5名以上が望ましい（（3）参照）。3名以下でのチーム登録は原則認めない。ただし、メンバーの当日病欠など、不可避の事故的理由がある場合に限り、事務局の判断で3名でのチーム登録を許可することもある。
- (2) 各試合には4名が出場（試合ごとにメンバーの入れ替えが可能）。
- (3) 各チーム試合に参加しない生徒がチェアパーソンまたはタイムキーパーを務める。4名チームの場合は高英研スタッフが代行する。
- (4) 1校から2チームまで参加申し込み可能。対戦数調整のため、「申込書1」締め切り後に3チーム目の募集をする場合もある。
- (5) 「申込書2」提出後の選手の入替は原則として認めない。

9 論 題 Resolved: “That the Japanese government should legalize gestational surrogacy. “

日本政府は、代理出産を合法化すべきである。是か非か。」

※全国高校英語ディベート連盟 HP (<http://henda.global/>) を参照

10 ディベートルール 別添の「大会規則」を参照

11 表 彰 1位、2位、3位、4位のチーム、
及びベストディベーター数名を表彰

12 申 込 申込書1及び申込書2を、次のQRコード又はアドレスより申し込み専用フォームにアクセスして申し込む。

13 申し込み先・申込期限

(1) 申込書1

令和5年(2022年)9月1日(金)

<https://forms.office.com/r/xWwtq593hB>



(2) 申込書2

令和5年(2022年)9月15日(金)

<https://forms.office.com/r/CLsi1jrQFH>



14 審査員 予選2名、準決勝3名、決勝5名のジャッジ(審査員)により行う。

15 審査基準 別添の「大会規則」を参照

16 その他

- (1) 試合形式については、予選は全参加校が4試合行う。本選は予選の上位4チームで準決勝および決勝戦を行う。
- (2) 上位2チームは、令和5年11月18日(土)~19(日)に佐賀県主催の九州大会の出場権を得る。また、上位チームから順に、全国大会への優先権を得る。全国大会の詳細については、全国高校生英語ディベート連盟HP (<http://henda.global/>) を参照。
- (3) 各参加校は1チームにつき1名の帯同ジャッジを派遣すること。また、帯同ジャッジは9月23日(土)に行われる審査員研修会(熊本県立熊本西高校)に必ず出席しなければならない。
- (4) 希望校による練習試合を2回、8月27日(日)午前中、及び9月23日(土)午後(ハイブリッド開催の予定)に計画しています。詳細が決まり次第参加募集について連絡します。